



「テンプルの中にいなさいⅡ」 について

イーシャ・サーデサイ

2020年7月15日 水曜日

この4ヵ月の間、世界があらゆる意味で急展開する中、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールには、シッダ・ヨーガのサンガムが定期的に熱意を持って集まってきました。何千人ものシッダ・ヨーギたちと、彼らの友人や家族など多くの人々も、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのバガヴァーン・ニッテヤーナンダ・テンプルからのライブ動画配信、「テンプルの中にいなさい」の数々のサツァングに参加しています。

「テンプルの中にいなさい」は、世界中のサンガムへのグルマーイ・チッドヴィラーサーナンダからの贈り物です。それらのサツァングでグルマーイが授けた教えの数々——人々が学び、練習し、吸収し、そして実行するために与えた英知——について、語るべきことなどあるでしょうか？ それらはすべてを含んでいます。それらはまさにすべてです。グルマーイの教えの一つ一つには、一生分の学びほどの価値があるとも言えます。それがグルマーイの教えというものなのです。それらは時を超越し、それでいてまさに今に当てはまります。

そして、シッダ・ヨーガのサツァングの体験があり、「テンプルの中にいなさい」で取り入れられてきた独特の様式や形があります。テンプルの雰囲気特別な光を与えるアーラティー・ランプの揺らめく光があり、ユニバーサルホールのすべての人の内側と周囲で大きく波打つチャントイングとバジャン、人と人との心の空間を満たしつながりを築く音があります。話をするティーチャー、そして物語を語る語り手が、非常に多くの異なる視点からシッダ・ヨーガの道の教えを

探究します。バデ・バーバのムールティの周りには、果物が流れるように連ねて置かれています。彼の高座の周りにはアーシュラムの敷地にある花や葉がしだれて弧を描き、鮮やかな色でテンブルを美しく飾ります。

そのすべてを合わせたものは、各部分よりもはるかに豊かです。あなたの感覚は引き込まれて歓喜し、そうです——そしてあなたは、感覚的体験を超えて行くのです。あなたは目に見えない何かとつながり、何か超越した場所に入る許可を得るのです。「テンブルの中にいなさい」のサツァングに何度も、何度も、何度も参加することで、あなたは、この試練の時をしっかりと取りしながらか進むために必要な自分の資質を再認識します。あなた自身の回復力と強固な意志に触れます。自分自身の強さと優しさ、識別力と希望、規律に従う能力を知るようになります。その結果、あなた自身と、あなたの人生でそれを必要とする人たちを手助けするそれらの資質を、もっとよく発揮することができるのです。

もちろん、ライブ動画配信が終わっても、サツァングは本当に終わったわけではありません。サツァングとは、あなたが自分自身の心と共に過ごすことです。グルマーイが教えているように、テンブルの中にいることは、あなた自身の肉体のテンブル、つまりあなた自身の魂のサンクタム・サンクトラム(最も神聖な場所)にすることで、物理的な崇拝のための建物に同じことです。あなたがバガヴァーン・ニッテャーナンドのテンブルで見たり聞いたりしたことを思い出し続けることによって、受け取った教えを学習することによって、それらを四つの体(肉体的、感情的、知的、精神的な体)に吸収することによって、内側のつながりを強くし、維持します。

世界中のシッダ・ヨーガ・サンガムの人々が、「テンブルの中にいなさい」のサツァングから何かをつかむことを、ライブ動画配信が終わった後に戻るべき何かを持ち——そしてそれを学び、練習し、吸収し、実行することを、グルマーイがどれだけ望んでいたかを私は既にお話しました。この願いに沿うために、「テンブルの中にいなさい」のサツァングのマネジングディレク

ターのローヒニー・メノン、SYDA ファウンデーションのウェブサイト部門に、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトでこれらのサツァングのコンテンツがさらにもっと見られるよう要請しました。

こうして「テンプルの中にいなさいⅡ」がもたらされました。「テンプルの中にいなさい」の各ページでは、グルマーイの教え、講和そして体験談を見ることができます。「テンプルの中にいなさいⅡ」では、「テンプルの中にいなさい」のサツァングの他のコンテンツや、それに関連したものがさらに集められています。それは話し手やティーチャーの話、サツァングでずっと歌われ、朗唱されてきたシッダ・ヨーガの音楽、あなたが聞いた物語、多くの「テンプルの中にいなさい」のサツァングの冒頭で映し出された自然の動画など、さらに多くのものを意味します。

このページを訪れてください。そしてそのたびに新しいこと——以前には考えてみなかったことや、恐らく十分に理解していなかったこと——を理解するよう望みます。時間を取り、ここにあることを学習し、あなたの気づきをノートに書き、学んだことを積極的に人生に活用することをぜひお勧めします。そして、サツァングのお気に入りの部分を何度も戻って見るたびに——精神的にだけでなく直感的に、あなたの骨の髄から、とりわけあなたの心の中で——テンプルの中にいるとはどういうことかを思い出してほしいと願っています。

